

各 位

会社名 株式会社アイビーダイワ
代表者名 代表取締役社長 高橋 正紀
(JASDAQ・コード 3587)
問合わせ先 取締役 CFO 豊島 慶子
TEL 03-5312-6510 (代)
<http://www.ibdaiwa.co.jp/>

第 5 回新株予約権の譲渡に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 2 月 16 日開催の取締役会において、平成 21 年 12 月 25 日にクリブデン・マネージメント株式会社（現時点における当社の筆頭株主。以下、「クリブデン社」という）に対し発行した第 5 回新株予約権 2,578 個（新株予約権の目的となる当社株式：257,800,000 株）のうち、平成 22 年 2 月 8 日付で当社が発表した合計 690 個（新株予約権の目的となる当社株式：69,000,000 株）の北京中鋳聯合投資基金、百鋳投資有限公司およびジェイサイト株式会社、3 社に対する各 230 個（新株予約権の目的となる当社株式：23,000,000 株）の譲渡（詳細は、平成 22 年 2 月 8 日付「第 5 回新株予約権の譲渡に関するお知らせ」をご参照ください）に続き、第 5 回新株予約権 200 個（新株予約権の目的となる当社株式：20,000,000 株）を、株式会社ウィザードインベストメント（以下、「ウィザード社」という）に対し譲渡されることにつき、承認いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景および理由

当社は、平成 22 年 2 月 8 日付で、クリブデン社に対し、同社の請求に基づく上述の 3 社（北京中鋳聯合投資基金、百鋳投資有限公司およびジェイサイト株式会社）に対する第 5 回新株予約権の譲渡承認を行いました。その翌日の平成 22 年 2 月 9 日、クリブデン社より、同社が保有する第 5 回新株予約権（平成 22 年 2 月 8 日付の譲渡完了後の保有個数：1,888 個。新株予約権の目的となる当社株式：188,800,000 株）についても、全部または一部を、第三者に対し譲渡する方向で検討していること、また、クリブデン社が保有する株式（当社が平成 21 年 12 月 25 日に同社に対し割り当てた 81,293,000 株）についても、全部または一部を、第三者に対し、譲渡する方向で検討していることを通知されました。クリブデン社より、株式および第 5 回新株予約権の譲渡先の選定にあたっては、中長期投資を前提とする先であることを重要な選定基準とすること、また、第 5 回新株予約権の譲渡先の選定にあたってはさらに、第 5 回新株予約権を早期に行使する意向であるか、または、当社と事業提携等が可能な相手先であるかを重視する旨を説明されました。当社はクリブデン社に対し、株式の譲渡については、原則クリブデン社の自由であるものの、譲渡先の選定については慎重に行ってほしい旨を要請し、また、同社が譲渡を実行した場合は、当社に対し、同社が平成 21 年 12 月 8 日付で同社が差し入れた「確約書」に基づき、即日、書面で詳細を通知する義務がある旨の確認を行いました。

その翌日の平成 22 年 2 月 10 日付で、クリブデン社より、第 5 回新株予約権 200 個（新株予約権の目的となる当社株式：20,000,000 株）の、ウィザード社に対する譲渡承認請求書が当社に対し送付され、クリブデン社より、今回の譲渡にあたり、ウィザード社の間で、第 5 回新株予約権を行使後の株式の売却制限等の約定はないものの、原則として、中長期保有目的であることが説明され、また、ウィザード社は、当社株価の動向等に当然影響されるものの、今後、第 5 回新株予約権を積極的に早期に行使することを前提として譲り受けるものであるため、早急に譲渡承認手続を完了してほしい旨の要請がありました。当該要請を受け、当社でウィザード社の反社会的勢力該当状況のチェックを行った結果、該当がないことが判明したため、平成 22 年 2 月 17 日に開催した当社取締役会において審議し、当該譲渡を承認することといたしました。

2. 譲渡先の概要

株式会社ウィザードインベストメントは、日本国内の純粋な投資会社であり、国内の上場企業への投資実績を有しております。同社は、平成 22 年 2 月 8 日付で譲渡を受けた株式会社ジェイサイト同様、資源関連企業への投資実績はありませんが、資源関連分野の有望性に着目し、第 5 回新株予約権の譲受を決定いたしました。

① 商号	株式会社ウィザードインベストメント
② 本店所在地	東京都港区西新橋二丁目 33 番 4 号
③ 設立年月日	平成 10 年 2 月 19 日
④ 資本金の額	5,000 万円
⑤ 代表者	代表取締役 鈴木 直実
⑥ 事業内容	投資事業
⑦ 当社との関係	
資本関係	該当なし
人的関係	該当なし
取引関係	該当なし
関連当事者への該当状況	該当なし
⑧ 譲渡個数	200 個

3. 今後の見通し

(1)クリブデン社の方針

クリブデン社は、残りの第 5 回新株予約権（平成 22 年 2 月 17 日付の譲渡完了後の保有個数：1,688 個。新株予約権の目的となる当社株式：168,800,000 株）についても、第三者に対する譲渡を行う可能性があります。クリブデン社は、当社が同社に対し新株式および第 5 回新株予約権の発行を決議した平成 21 年 12 月 8 日時点においては、当社が同日発表した「第三者割当による新株式（デットエクイティスワップ）および新株予約権発行に関するお知らせ」にて記載のとおり、原則として、他の投資家に対し資金の提供を要請し、クリブデン社が資金を調達した上で、同社自体で第 5 回新株予約権の行使を行う方針でありましたが、その後、同社が投資家との間で、第 5 回新株予約権行使のための資金調達の協議を継続したところ、自社で直接第 5 回新株予約権の譲渡を受け、行使を行うことを強く希望する投資家が多かったため、方針を転換し、早期に第 5 回新株予約権の行使をする意向があり、またクリブデン社と今後共同で当社の事業推進を支援する意図を有する投資家に対しては、第 5 回新株予約権および、クリブデン社が保有する株式の一部を譲渡していく方針といたしました。当社は、クリブデン社が第 5 回新株予約権のさらなる譲渡につき承認請求を行った場合には、譲渡先の調査等に基づき、承認または不承認の決定を行います。

(2)資金計画と新規事業

資金使途についてクリブデン社と協議をすることになっておりましたが、上記の通りクリブデン社の方針が変更されたことにより、今後は資金使途については、クリブデン社に加え、各新株予約権譲渡先の理解と協力も得て新規事業を推進する方針です。

(3)臨時株主総会

クリブデン社が推薦する人物を当社取締役とすることを目的として当社が平成 22 年 2 月後半を目処として開催することを計画し、準備を進めていた当社臨時株主総会については、クリブデン社の当社に対する議決権比率ならびに潜在的株式を考慮した持株比率についても大幅に低下する可能性があることに鑑み、開催については、可否を含めクリブデン社と更なる協議を行う予定です。臨時株主総会の開催につき、決定を行った場合には、直ちにお知らせいたします。

以上